

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2009年2月28日

95号

NPO法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

∞地域生活を総合的に支える ゆたかな都市へ∞

医療環境・医療体制の充実を！



「今年のサクラはどうかしら…」 グループホーム開設以来、地元の新吉田町で、毎年バザーを中心とする交流の集いを開いてきましたが、桜情報はとても気になるところです。満開に重なると、皆さんの足がお花見のイベントに向いてしまうからです。「イベントは、お天気がよければ8割成功ヨ」といってきましたが、よつばのバザーだけは、そうともいえないのがビミョウなのです。

* * *

さて、前号でふれました『横浜市障害者プラン（第2期）』の素案が示されました。

昭和48年に出来た在宅心身障害者手当を廃止し、「将来にわたるあんしん施策」に転換していこうというものです。平成21年年度に具体策の検討を行い、22年度から順次実施に入るとしています。

主な柱は、つぎのようになっています。

- ◇親亡き後も安心して地域生活が送れる仕組みの構築（後見的支援の充実＝民法上の成年後見制度だけではなく、生涯に亘るいろいろな見守りの仕組み）
- ◇障害者の高齢化・重度化への対応（住まいの場の充実、医療的ケア対応、）
- ◇地域生活のためのきめ細かな対応（相談体制の充実、医療受診環境の充実＝医療従事者の障害理解の促進等、総合的な移動支援施策体系の再構築）

さらに、各項目に亘って推進項目や、重点施策などが挙げられています。

また“ライフステージを通じた支援”つまり、幼児期から高齢期にいたるまで一貫した支援体制を構築すると共に、様々な障害に応じた個々のニーズにも対応する、重層的な制度設計・運用を図っていく。

そして、こうした仕組みをちゃんと生かしていくためには、人材が欠かせませんが、そのための取り組みも強化する、とあります。

これまで私たちが機会あるごとに言ってきた課題が、盛り込まれた、実現すれば素晴らしいプランといえます。この計画が実際に、実情にあった形で、実現していくためには、私たちもこれまで以上の関心を寄せ、自分たちの努力も必要であると感じました。

とりあえず、今年は勉強もし、重度障害者に代わってニーズを伝えていきましょう！



介護の仕事大好き

LLT介護サービスセンター

藤井みさ子

私は、訪問介護事業所でサービス提供責任者として、高齢者や障害者の方々のお宅やグループホームへのヘルパーさんの派遣、また外出介助や通院介助としてヘルパーさんを派遣する仕事をしています。

この仕事で一番難しい事は、いかに利用者様のニーズに応えられるかということです。活動時間や活動内容は勿論ですが、利用者様との相性も重要な問題です。また、介護保険法・自立支援法という枠の中での活動なので、規制もあります。テレビ等でご存知だと思いますが、ヘルパーさんも大変不足していますし、現在活動してくださっている方々も高齢化に伴い、退職される方も増えています。4月からの改正に伴い、どのように変化していくかわかりませんが、少しでもよい方向に行くことを願っています。

私は、介護という仕事が好きです。たくさんの人たちとの出会いは、私に元気やパワーをくださいます。多くの事を学ばせて頂きますし、その姿に感動させられる事もあります。よつばホームの皆さんにも、いつもたくさんのお元気を頂いています。まだまだ未熟者ですが、少しでも皆さんのお手伝い出来るよう頑張りたいと思っています。

ノーマライゼーションの理念を目指して。

新吉田地域交流バザーのお知らせ

重度身体障害者が共に暮らすグループホームが新吉田西部町会に開設してより「よつばホーム」は早くも7年半「第2よつばホーム」も3月で5年が経とうとしております。

今年もグループホームの庭で、新吉田の皆さんのご協力を得て『バザー』を行います。楽しい地域交流の集いをみなさんで楽しみいただければと思います。

日時： 4月4日（土）午前10時30分より 午後2時まで

会場： よつばホームの庭

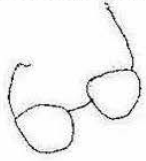
港北区新吉田町5623-1 TEL&FAX：045-592-7040
（綱島よりバス①番 中町下車 九州石油GS裏となり）

内容： 提供品の販売 衣料 雑貨 食品（お菓子、お赤飯、漬物など）
軽食コーナー （焼きそば、フランクフルト、おでん など）



*入れたてのコーヒーや 飲み物をサービスいたします。

ぜひ、楽しいひと時をお楽しみください。



めがねの声

■障害者も楽しくスポーツを...

皆さん お風邪はひいていませんか。

この前 横浜ラポールで、港北区の作業所や活動ホームの人たちの 交流ポッチャ大会がありました。

「活動ホームしもだ」からも4人のメンバーが参加しました。

ポッチャは、赤と青のボールに分かれ、親のボールに近づくように転がして 点を競うスポーツです。重い障害でボールを投げられない人も、簡単な道具をつかって参加できます。私も道具を使ってやります。出来たなと思っても、なかなか思うところにいかなくて、ちょっと難しいです。

時々しもだでも やります。この前、余暇活動の青年クラブでもスポーツプログラムで取り入れたら、障害者もボランティアも 時間のたつのを忘れて、お茶の時間になっても誰もやめたくない。大笑いでした。見ているのも面白いし、誰でも出来るので私は気に入っています。

* * *

去年、ポッチャの交流会で、指導員の方が呼んで下さって、横浜ラポールのサークルの見学にいきました。職員やヘルパーさんたちは「入って違うところで教えてもらったらいいね」といってくれました。母も「大会に出るため とか言うのではなくて 時々遊びに行くならいいかもね」といいましたが、そのままになっていました。

私が、だんだん疲れやすくなってきましたし、休みの日がサークルの練習の時間となかなか合わなかったからです。

もう忘れられたかなと思っていたのですが、今年も「参加できるなら予定をメールで送みましょう」と 声をかけてくださいました。

私は、外の人仲間に入って何かやりたいし、そうすれば考える事も多いので... 今年は、ぜひ参加したいなと思うのですが...

* * *

この頃は、車椅子サッカーや、マラソンや、チェアスキーなどよく知られていますが、障害者が出来るように工夫されたスポーツも増えてきました。

スポーツだけではなく、障害者の生活も、考え方も変わっていくなと思います。

大原友子

俳句

梅の木に さえずり歌う めじろかな

高島勢津子(よつばホーム)



ご寄付 レンゲ・ホーム・ヨガの皆様よりご寄付を頂きました。ありがとうございました。

今月のよつばホーム

よつばホーム

ようやく春めいてきた今日この頃・・・。入居者のみんなも春を肌で感じています。

3月は年度末で何かと忙しい時期でもあります、スポーツ観戦が好きな勢津子さんにとっても、今月はとても忙しかったようです。

まずはWBC連覇を成し遂げた『侍ジャパン』の応援です。日本ラウンドからテレビ観戦できるときは、ずっと応援していました。

韓国との決勝も、しもだからの帰宅後、開口一番「野球どうだった？」と聞いて、日本が勝ったと知ってとても喜んでいました。

そして東京マラソンに、春のセンバツ高校野球。高校野球は慶応が負けて残念そうでしたが、毎試合結果を楽しみにしています。

さらに大相撲3月場所に、フィギュアスケートにと、スポーツ好きな勢津子さんにとって、ハラハラドキドキの3月だったようです。ヽ(//^▽^)/

* * *

先日、以前アルバイトで勤務していた加藤水希ちゃんがよつばホームに遊びにきてくれました。

今は実家の山形でOLがんばっているそうです。

おみやげに『さっちゃん』と言うお菓子いただきました。このお菓子を見つけたときに、いつかおみやげに持って行きたいと、ずっと思っていたそうです。ヽ(≧▽≦)o

第2よつばホーム

早いもので桜が咲く時期になりました。

3月19日に富岡章子さんがしもだ外出プログラムで、エプソン品川アクアスタジアムに行ってきました。

とっても楽しみにしていた水族館だったので、綺麗なお魚やイルカのショーを楽しむことができました。

充実した一日をすごして、お魚以上に瞳を輝かせて帰宅し、マッタリ水族館の余韻を楽しんでいました♪

他の入居者のみんなもそれぞれの時間を楽しんでいます。

山田さんが和室でゆっくり過ごしているなか、横で阿部さんはジノジノしながら周りのスタッフに愛想をふりまっています。(*▽*)E^^

友子さんは自分の部屋で音楽を聴いたり、スタッフとお喋りしたりとそれぞれの時間を楽しんでいます。

桜が咲く時期は別れもあり、ちょっと寂しいですが出会いの時期でもあります。みんなこれからの出会いを想いながら過ごしています。

